



もう焼けたかな？
中央左は 韓国から
飛び入り参加の崔先生

向島有季園

楽しく収穫祭 今年で8回目

この記事の標題は
一言会副会長 齋藤さん



こんな大きなヘチマも

そこへ、韓国から東京大学へ客員教授として来日中の、都市計画の権威、崔孝昇(チエ ヒヨスン)さんが飛び入り、図らずも日韓交流の場となりました。有季園も来年は十年目を迎えます。炎天・冷夏・害虫などの苦勞を越えて、野菜作りの楽しさを延べ一四〇人の方が味わい、万一、一言地区に大災害があつても、この方たちの力で下町手作り農場が運営されるはず。有季園では、畑作りのリーダー「植栽の鉄人」が育っているのです。

有季園の名前は海外まで？

園の前には、収穫物のトマトやウリ、トウガラシなどのスナップ写真と、利用者のKさん自慢のプランター栽培による稲(ゆづきコシヒカリ)が飾られ、「収穫祭」のムードたつぷりでした。

お祭りには、利用者さんと一言会の役員さんなど約二十名が参加、則武会長の「お祝いの言葉」に続き、ビールで歓ぱーい。同園でとれた野菜と、利用者の皆さんが持ち寄った牛肉、ワイン、泡盛、焼きそばなどで、バーベキュー大会となり、この一年間の「畑作りの苦心談」に花が咲きました。

手作り野菜はおいしい

一言会じまんの施設「有季園」にも、たわいな実りの季節が訪れました。十一月十六日、午前一時から、防災小緑地「向島有季園」(向島五)では、利用者さんの懇親をかねて八回目の「収穫祭」が開かれました。

有季園利用者募集

あなたも、向島有季園(向島5-35)で、楽しい野菜づくり・花づくりを体験してみませんか。



応募券

ご希望の方は、官製はがきに右下の「応募券」を貼り、住所・氏名・電話番号をご記入の上、左記へお申し込みください。応募者多数の場合は、二月に「公開抽選会」を行います。

【利用期間】

平成十年三月一日
～平成十二年一月三十一日

【応募条件】

一 寺言問地区(堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目)にお住まいの方

【申し込み先】

〒1131 墨田区東向島一-11-13
一言会々長 則武勝商

【締め切り】

平成十年一月三十一日(必着)

※なお、利用に際して、次の事項を守ってください

- いますようお願いします。
- ☆二年間、本人が責任を持って利用する
- ☆年二回の利用者会議に出席する
- ☆六月に実施の園周辺生け垣剪定会に参加する
- ☆園の近隣居住の方に迷惑をかけない

お問い合わせは 有季園の担当理事 阿部

☎3622-0542

鳩の街商店街に

防災型街路灯が完成!

鳩の街通りでは、街路灯の取り替え工事が終わり、十二月六日、完成記念のモチツキ大会が行われました。

この街路灯は大変ユニークで、夜になると街灯の他に「広域避難場所白鬚防災地区」と表示された誘導パネルが光り、電源が切れたときには非常灯がともります。鳩の街通りはいつも明るい避難道になりました。

鳩の街通りの中程にあるポケットパーク「はとほつと」には、災害時に有効利用できる「路地尊」が設置され、今でも一寺言問を訪れる見学者が鳩の街を歩きますが、また一つ災害に備えた安全なまちづくりの

名物となるでしょう。

飾りのついた街路灯も良いけれど防災に役立つ、災害時にも灯りを絶やさない工夫をした、鳩の街商米会の皆さんの心意気が感じられます。なお、商店街に屋外型の非常灯がついたのは初めてで、墨田区と東京都から補助金がつきました。



明かりの下には
かわいい鳩がいます



安心とするおのり下町川の手をめぐりて

防災まちづくり瓦版

発行/一寺言問を防災のまちにする会

平成9年12月15日

いちてらことい
一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 則武勝商
連絡先/墨田区まちづくり事業推進部地域整備課内
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

